

第10回 芹川川づくり会議

平成20年10月5日

滋賀県

今回の川づくり会議の内容

- 芹川川づくり会議の経緯
- 中長期整備実施河川の検討結果による
芹川的位置付け
- 芹川の現状
- 芹川の治水対策の選択
- 芹川の治水対策方針(案)
- ダム建設予定地域の生活再建

芹川川づくり会議の経緯

芹川川づくり会議

平成13年度～平成19年度
第1回～第9回川づくり会議

淡海の川づくり検討委員会

平成13年度～平成16年度
第1～4回 芹川部会 第1～2回 湖東圏域検討委員会

中長期整備実施河川の検討

淡海の川づくり検討委員会

平成20年 1月25日 中長期実施河川検討の基本的な考え方
平成20年 7月15日 評価指標の考え方

中長期整備実施河川の検討
説明会

平成20年 8月10,31日 中長期実施河川検討の基本的な考え方
平成20年10月 4, 5日 検討結果（河川のランク付け）

芹川川づくり会議

平成20年10月 5日 芹川の治水対策方針（案）

...

河川整備計画策定

中長期整備実施河川検討結果による 芹川の位置付け

- 芹川は、**Aランク河川**
(優先して整備を実施すべき河川)
- 同時に、芹川は、**Tランク河川**
(堤防点検・評価結果に基づき、
堤防強化対策を実施すべき河川)

- **当面の整備目標**
芹川他、集水面積 50km²以上の河川は
基本的に**戦後最大相当の洪水を目標**

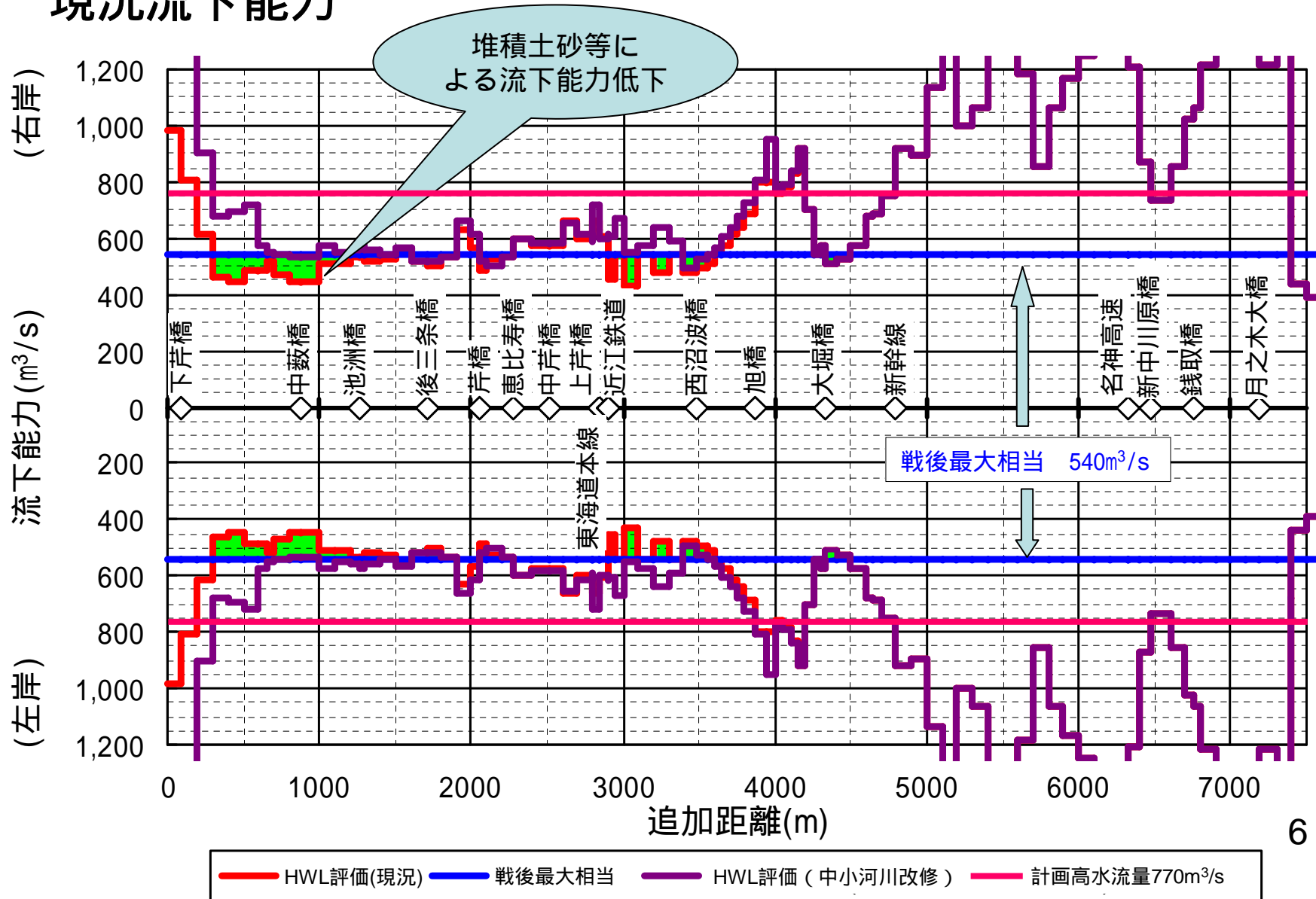
芹川の現状 (1)

河道内の土砂堆積、中州での樹木繁茂で流下能力低下



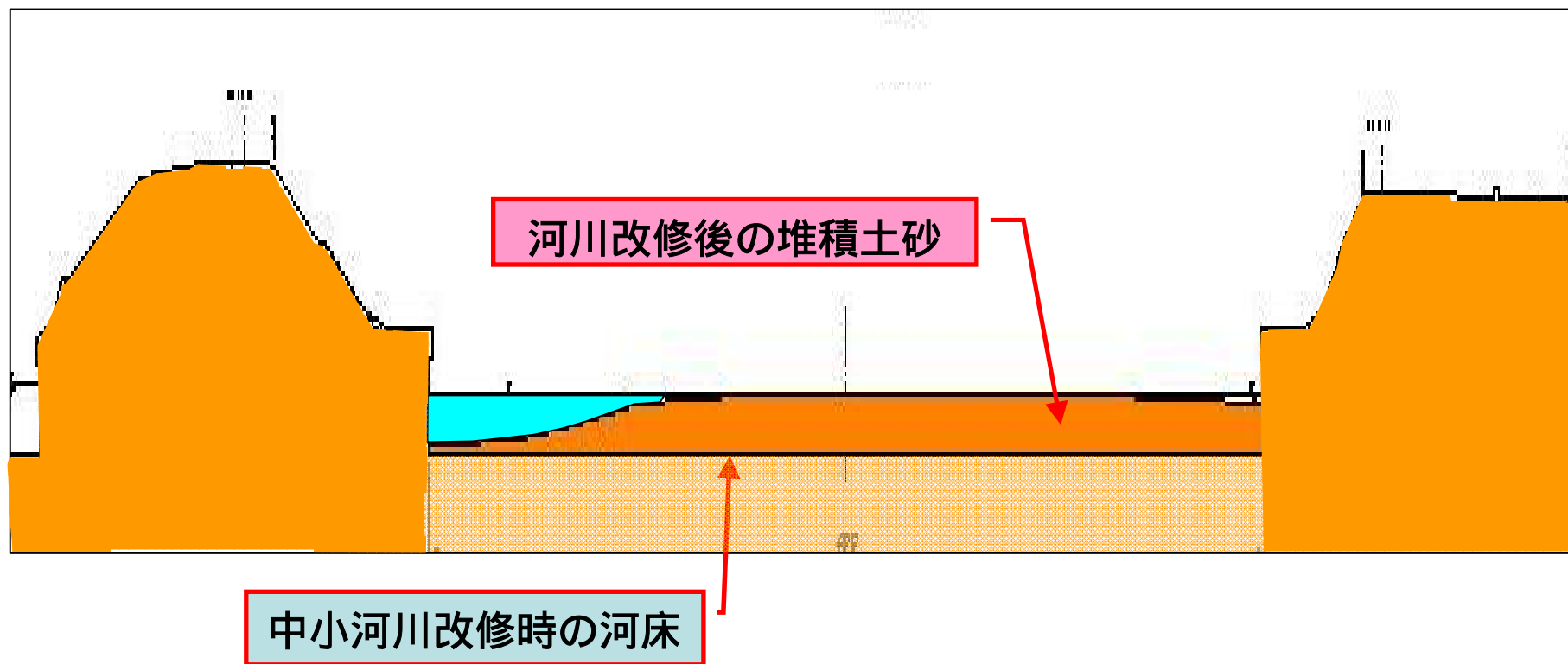
芹川の現状 (2)

現況流下能力



芹川の現状 (3)

流下能力不足の原因



芹川の現状 (4)

芹川よりも治水安全度の低い河川も多く存在する。

● Aランク河川現況治水安全度一覧

集水面積50km²以上

集水面積50km²未満

	整備区間の地先	集水面積 (km ²)	おおむねの現況安全度 1/n(年)		整備区間の地先	集水面積 (km ²)	おおむねの現況安全度 1/n(年)		整備区間の地先	集水面積 (km ²)	おおむねの現況安全度 1/n(年)
愛知川	東近江市他	196	30	草津川	草津市	37	5	八田川	高島市	8	3
芹川	彦根市	65	20	金勝川	栗東市	21	5	不飲川	愛荘町	6	3
安曇川	高島市	300	15	鴨川	高島市	44	3	狼川	草津市	5	3
日野川	近江八幡市	211	15	大同川	東近江市	39	3	平田川	彦根市	5	3
野洲川	甲賀市	382	10	葉山川	栗東市	22	3	家棟川	湖南市	4	3
姉川	長浜市他	370	10	真野川	大津市	19	3	野瀬川	彦根市	4	3
高時川	長浜市	212	10	蛇砂川	近江八幡市	17	3	青井川	高島市	3	3
天野川	米原市	109	10	長浜新川	長浜市	17	3	藤ノ木川	大津市	3	3
犬上川	彦根市	106	10	矢倉川	彦根市	17	3	北川	草津市	2	3
大戸川	大津市	190	5	山賀川	守山市	9	3	中の井川	栗東市	13	2
余呉川	木之本町	65	3	落合川	湖南市	8	3				

芹川治水対策の基本的な考え方

厳しい財政状況を踏まえ

- 県内の他の河川との治水安全度のバランスを確保し、**効果的・効率的**な河川整備を進める。
- 当面の**現実的**で、**実現可能**な方策を考える。

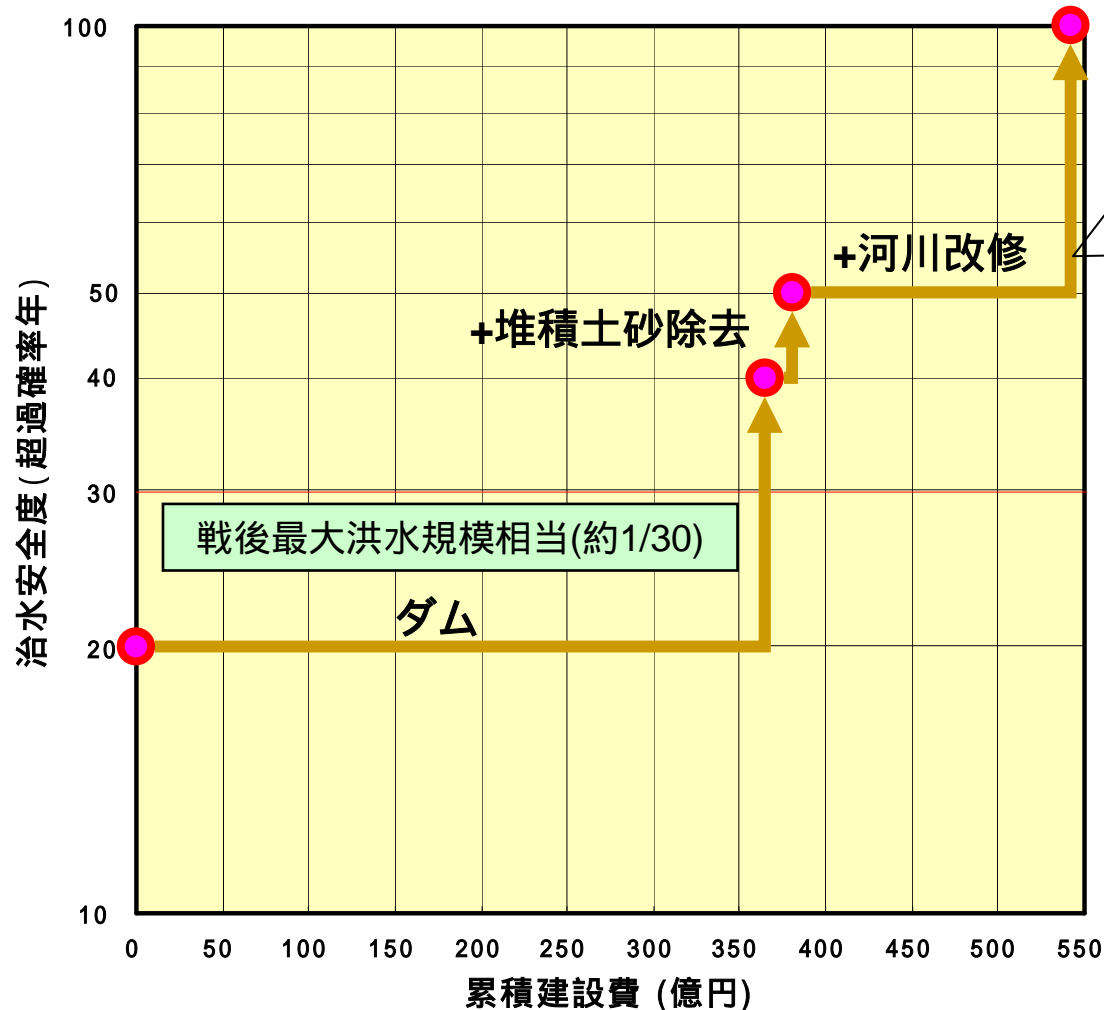
芹川の治水対策の選択

- 芹川の治水対策としては、将来目標の1/100治水安全度達成のためには、「ダム＋河川改修」は、有効な計画案の一つであるが、**ダムは完成するまでに多額の費用がかかる。**
- 一方、芹川では、**河道内の堆積土砂等の除去による流下能力回復で戦後最大規模相当の洪水を流すことができる。**

芹川の治水対策の選択 (1)

● ダム先行：

ダムが完成すれば、一定の治水安全度(約1/40)まで確保することができる。
ただし、確保までに多額の費用がかかる。



将来、1/100の治水安全度を目指す場合、**ダムを優先するとダムが完成するまでは安全度は向上しません。**

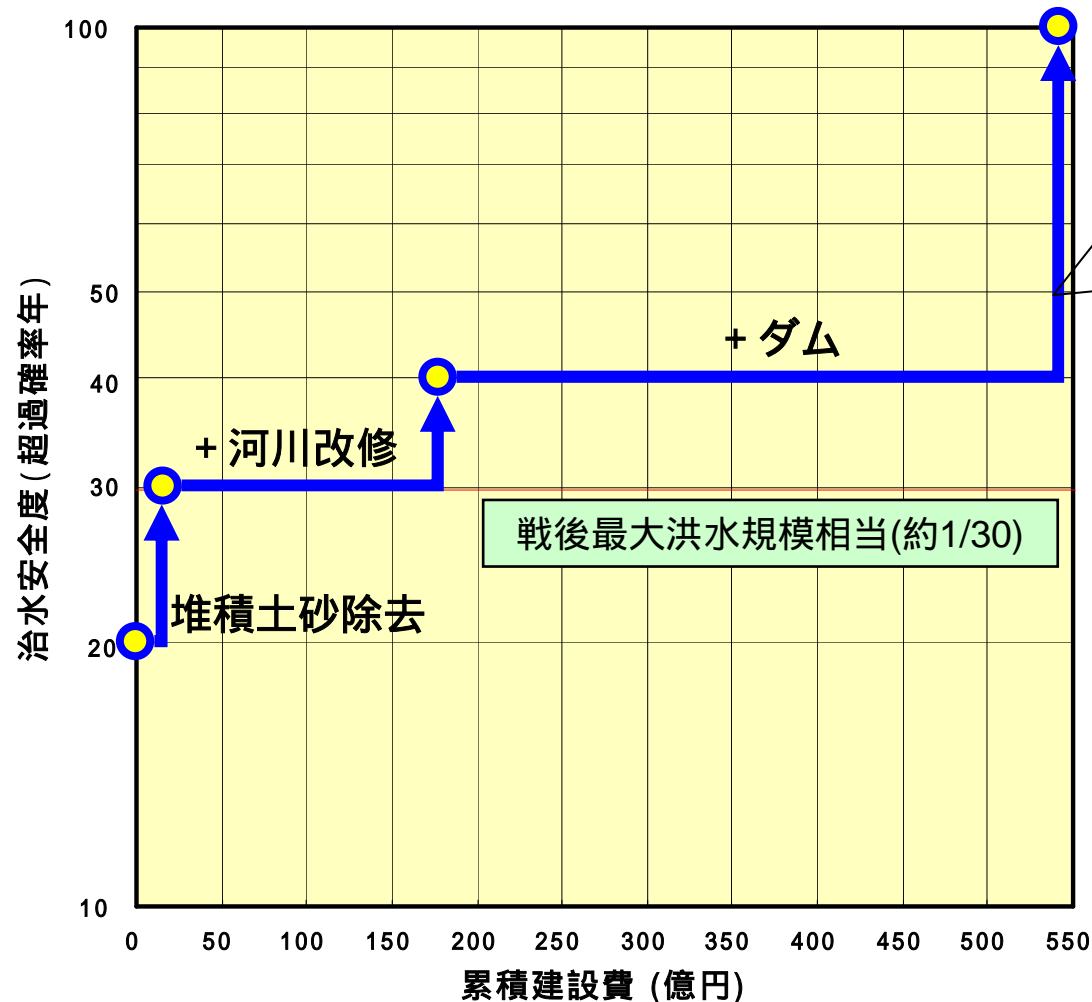
また、芹川に多額の予算を集中してつぎ込むこととなり、他の河川に予算がまわせず、県全体の治水安全度を高めることができません。

一連区間の安全度で評価
建設費はH20年度以降の
残事業費

芹川の治水対策の選択 (2)

● 堆積土砂除去先行：

堆積土砂除去で戦後最大規模相当の洪水が流すことができる。
確保に要する費用は少額。



同じ1/100の治水安全度を目指す場合でも、**堆積土砂の除去や樹木伐採を優先して実施した方が、早く安く当面の整備目標を達成することができます。**

そのおかげで、他の河川にも予算をまわすことができ、県全体の治水安全度を高めることができます。

将来の改修の
進め方は未定

芹川の治水対策方針(案)

- 芹川の当面（今後20年間）の治水対策は、河道内の堆積土砂等の除去による流下能力回復で、県内の他の同種・同規模の河川とバランスのとれた治水安全度（戦後最大洪水規模相当：約1/30）を確保することとする。
- 芹谷ダム建設事業は「湖東圏域河川整備計画」には位置付けない。
- 芹川は天井川であることから、堤防の安全性の点検・評価を行い、必要な箇所での堤防強化対策を行う。
- 同時に、施設能力を超える洪水が発生した場合にも、芹川沿川住民の命を守り、被害の最小化を図るため、地域住民や地元自治体と連携して「地域防災力の向上」に取り組む。

ダム建設予定地域の生活再建

水谷地区の皆様には昭和38年以来、45年もの長きにわたり大変なご心労をお掛けしていることに対し、改めて心からお詫びを申し上げます。

ダム建設予定地の生活再建、振興対策について、高齢化し疲弊した地域をいかにして生活再建していくのか、私どもも最善の方法をお示しさせていただきたいと考えております。

本来整備されているべき道路であるとか、土地改良であるとか、生活排水の処理にもご苦勞をかけている現実を見させていただいたうえで、ダム建設予定地域の皆さんお一人お一人が元氣を取り戻してもらえような方向を、真摯に責任をもって探らせていただきたいと思います。

- 平成20年9月議会 知事答弁 -